

田原市渥美郷土資料館平成21年秋の企画展

田原の美術

大羽 悟郎・工藤和男・仲谷孝夫

Goro Ohba / Kazuo Kudo / Takao Nakaya

海を描く

平成21年

10月31日(土) - 12月6日(日)

休館日 ● 毎週月曜日(ただし、11月23日は開館し、11月24日は休館します。)

開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 ● 無料



大羽悟郎／「浜へ行く道」1978年／第24回一陽展



工藤和男／「コンブ取りの海」2007年／日展



仲谷孝夫／「北の海」1999年

大羽 悟郎 (1925～1999)は、渥美郡赤羽根村高松一色(現高松町)に生まれ、1947年に行動美術展に初入選します。1956年には一陽展に初入選し、1963年には、一陽展で特待賞を受賞し、翌年、会友、1965年に一陽会会員となります。1974年、左半身の自由を失うもその制作意欲は衰えず、1990年、カナダ美術賞展でル・サロン賞を受賞。日本国際美術家協会会員となります。1999年逝去。2006年、渥美郷土資料館特別展「渥美半島を描く」出品。故郷の海岸風景をこよなく愛した画家です。

主な出品作 ● 一陽展・中部一陽展出品作品7点を含む約13点

工藤 和男は、1933年大分県に生まれ、1957年創元会展に初入選します。武蔵野美術学校(現武蔵野美術大学)卒業後、東京都の教員となります。1963年に創元会会員、1965年に日展初入選、日展会員となり、1976年・1979年に日展初選、翌年からは無鑑査出品、審査員も3回務めました。1998年からは創元会理事長、2006年からは日展評議員としても活躍しています。紺綬褒章受章。海という厳しい自然と向き合って働く人々を描いた作家です。

主な出品作 ● 日展入選、創元展出品作品を含む約23点

仲谷 孝夫(1918～2006)は、渥美郡田原町(現神戸町)に生まれ、京都で日本画を学んだ後、戦後、洋画へ転向し、郷里の田原中学校で教員をつとめながら、1951年に行動美術展に初入選します。1957年には行動美術協会会友となり、1962年には愛知県立成章高等学校の教員となります。1970年に行動美術協会会員となると同時に審査員をつとめ、全国・中部地方の両方で活躍します。作品の主題は緑豊かな自然とともに生きる人々の姿であり、画面の中に自然が破壊される不安な世相を反映させながら、描き出します。2006年1月逝去。

主な出品作 ● 行動美術展・中部行動美術展出品作品を含む約10点



大羽悟郎／「ふるりの磯」1986年 第33回一陽展



大羽悟郎／「一色大磯」1977年



工藤和男／「魚市場」1994年／日展



仲谷孝夫／「遠州灘(白い風)」1980年 第35回行動美術展

展示解説

日時 ● 11月1日(日) 午前11時 講師 ● 担当学芸員

渥美郷土資料館

問合せは博物館 ☎22局1720